単元の言語活動1

［　　年　　組　　番　名前　　］

◆折句の技法を用いて、短歌を作る

課題　今まで学んできた歌を参考にしながら、折句の技法を用いて、短歌を作ってみよう。

1 歌は、どのようなテーマで詠まれているのだろうか。各自で自由にテーマを立て、この教科書掲載歌の中から、そのテーマに沿った歌を四～五首、抜き出してみよう。

（例）「春の歌」「秋の歌」「冬の歌」「恋の歌」「色彩が印象的な歌」「孤独を詠んだ歌」「父母を詠んだ歌」など。

●テーマ

2 1 で抜き出した歌の中から、特に好きな歌一首を選び、心情を表現するために、どのような工夫がされているのか、確かめてみよう。

●選んだ歌

3 次の手順に従い、感じたことや発見したことを、折句を用いて、短歌にしてみよう。

①『伊勢物語』の「東下り」（六〇～六三ページ）を参照し、折句の技法を確認する。

②詩歌や日常の言葉の中から五音の語を選んで、表の(1)の欄に一字ずつ書き入れる。

（例）・うめのはな（梅の花）・かしわもち（柏餅）・むしのこえ（虫の声）・ふゆやすみ（冬休み）など、季節や行事にかかわるもの

・自分が住んでいる町の名前や自分の名前など、自身に関連するもの

・地名・人名・植物名・動物名など

③歌の内容を考えながら、表の(1)の欄に記入した文字から始まる五音・七音の語を、(2)の欄に幾つか書き入れる。

④歌の内容を考えながら、第一句から第五句まで、それぞれに適切な語を選択し、一首の歌に仕上げる。

⑤グループを作り、各自が折り込んだ語と、短歌によって表現した心情について話し合う。

⑥各自が作成した短歌の中で、わかりにくい部分があったら、互いに指摘し、修正する。

	第一句	第二句	第三句	第四句	第五句
	五音	七音	五音	七音	七音
(1)					
(2)　(1)の欄の文字から始まる語					

完成した短歌